

出張報告書

令和 元年 11 月 25 日

会派名

会派名

会長

栗田政男

様

出張者氏名

栗田政男

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和 元年 11 月 21 日(木) ~ 令和 元年 11 月 23 日(土) [3日間]						
出張概要	①	月日	11.11.22	市町村名	鈴鹿市	会場	市役所
		目的	庁舎を含む防災対策について				
		テーマ	南海トラフ地震に対する対応				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

所見

令和の会 栗田政男

令和1年11月21日～11月23日

鈴鹿市

当市の庁舎建て替え事業において津波対策についての不安が多い現状がある。今回、南海トラフによる地震で駿河湾に面した鈴鹿市の高層庁舎について防災の対策について調査した。

今回の視察では高速インフラも含めた道路アクセスの調査もかねて、往路は網走から小樽まで陸路、小樽港から新日本海フェリーで新潟港へ、新潟から鈴鹿市まではあらゆる高速道を活用した。タイトな行程のため、距離よりも時間優先でルート選択したことによりオドメーターでは1100キロを超え、所要時間30時間超のハードなものであった。スケジュール関係で復路は空路とした。

改めて高速道路の必要性、特に北海道そして一番遅れている北網地区のハイウェイ整備は必要不可欠なものと痛感した。

鈴鹿市の防災対策は想像していたものとは違って津波の想定も5メートルということで、土地の面積の関係で高層の庁舎にしたとのことで、最近の集中豪雨による水害対策の方が課題であるということ、平野

という地形の、津波も含めた防災対策に苦勞している状況であり、
当市においても過度の津波不安は必要ないようにも考える。